

デーリー東北
2025年(令和7年)11月7日(金曜日) (3)

新たにトラック運転手育成



八戸市

船崎健一学長（前列中央）と
特定技能1号の取得を目指す
ミャンマー留学生13人、
八戸市にて6日、
このほか工業製品製造業
分野は11人が受講する。
式では、船崎学長が「八

戸での学びや生活を通じて
日本への理解を深め、将来
は日本とミャンマーの架け
橋となることを期待していく
」と激励した。

自動車運送業分野を受講
するミンチャンアウンさん（29）は「母国にも日本に
もトラック運転手は必要だ
が、なり手が減っている。
両国のために尽力したい。
日本のライセンスは難しい
が、一人前のドライバーにな
りたい」と意気込んだ。

八戸工大

「工業製品製造」は11人

八戸工業大（船崎健一学長）は6日、国内企業で就労できる外国人技術者を育成する「外国人特定技能エンジニアプログラム」の後期入校式を同大で行つた。今期から開講する自動車運送業分野の2人を含むミャンマー留学生13人が、国内企業で最長5年間働ける在留資格「特定技能1号」の取得を目指す。

外国人特定技能プログラムに2人

八戸工業大（船崎健一学長）は6日、国内企業で就労できる外国人技術者を育成する「外国人特定技能エンジニアプログラム」の後期入校式を同大で行つた。今期から開講する自動車運送業分野の2人を含むミャンマー留学生13人が、国内企業で最長5年間働ける在留資格「特定技能1号」の取得を目指す。

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。